新京日日新聞
夕刊
十二月廿日(水)

滿洲國最初の
積缺公債發行さる
五百十五萬千八百九十九圓

滿洲國政府に於て公布準備中であつた積缺公債は愈よ二十三日新京奉天中銀本支行を通じて公布せられた、公債總額は最初六百萬圓の豫定であつたが嚴重査定の結果、五百十五萬千八百九十九圓と決定義に現金をもつて償還せられた二百五十萬圓を合し舊債整理總額は七百六十五萬圓を越える譯であるが、舊軍閥時代の全債務の清算を完了したものであり之により滿洲國の國際信用は一層增大せらるべく期待されて居る、尚同公債は年利三分、本年七月一日に遡つて利子計算を行ひ、二十ヶ年間に隨時政府に於て買上を行ふもので本公債は滿洲國建國以來最初の一般並びに對外公債であり英、米、佛その他諸國商人間の公債受授は事實上の滿洲國承認を意味するものとして注目されて居る、國籍別公債額左の如し

(單位千圓)

國籍	公債額
滿洲國人	九三七
日本人	一、五四四
英國人	一九一
米國人	四八
獨逸人	二、〇八七
フランス人	九四
スエーデン人	〇、八
オランダ人	二〇
デンマーク人	二五三
無國籍	〇、五

滿鐵增資の
初年度の成績良好
八分配當依然持續

〔東京廿三日發國通〕滿鐵增資後第一年の本年度營業成績は明春三月の締切迄は現在の成績を基礎として前年度に比し左の增收が豫想されてゐる

(單位千圓)

項目	金額
鐵道前年度收入	一〇一、八四六
本年度增收豫想	一七、〇〇〇
港灣前年度收入	一一、四〇六
本年度增收豫想	三、〇〇〇
鑛業前年度收入	三五、〇六六
本年度增收豫想	七、〇〇〇

然しながら他方諸事業の擴大に依る諸支拂の增大に依り差引幾何利益をあげるか興味を以てみられてゐるが增資當時屢々聲明された八分配當持續は確實とみられてゐる模樣である

滿鐵社線及社外線
十一月中旬 輸送概況

〔大連廿二日發國通〕十一月中旬滿鐵社線及社外線の輸送概況は左の如し

一、社內線の出廻りは前年に比して幾分遲延してゐる

一、輸送比較的圓滑なりし爲奥地在貨延數は前年に比し減少して居る

一、京圖線と瀋海・奉山線は特種輸送の爲特產輸送未だ活氣付かず

一、撫順炭は天候良好なりし爲め作業比較的進捗し前年同期に比し二萬八千キロトン增送す

一、建設工事材料は特に目立つて居る、即ち木材三千八百噸、石材、砂利二萬噸、セメント二千八百噸、鐵及銅六千噸を增送す

金買上價格
一匁九圓九十四錢に引上

〔東京二十二日發國通〕大藏省は金地金買上價格を左の如く決定し、發表した

一瓦に付二圓六十五錢

(一匁九圓九十四錢さす)

即ち從來の買上價格算定方法は日米爲替を基準としたものであるが今回ロンドン金塊相場及日英爲替相場を基準とするに變更されたものである

米人貿易商
北鮮進出を企圖
羅津に出張所設置

〔大連廿二日發國通〕關係に入つた情報によれば在京城米人輸入商フレサー同族株式會社は北鮮方面の發展を見越し米國商品の該方面進出を計畫し羅津に出張所を設けるとさなり代表社員ビー、エイチフイツシヤー氏を派遣、各方面と交渉を爲さしめた同氏は十月末京城に歸つたが近く羅津出張所の開設を行ふ筈である因に同氏談によれば今後羅津に進出し南滿地方に支社を有する自號貿易商と契約して大いに貿易業、海運業に活躍する心算だと

吉林省で
一月中旬參事官會議

〔吉林廿一日發國通〕大討伐後に於る治安維持及警備工作の大方針も決定し吉林全省を擧げて樂土建設への一路を辿る事になつたが更に行政、經濟、教育各般に亘つても其工作新方針を確立すべく、省當局に於ては種々考究中の所愈よ來る大同三年一月中旬參事官會議の名目の下に日滿各機關代表關係者の大協議會を開く事になつた、當日は黑、奉、興各省の代表も參加し出席者百五十名に上る吉林省空前の大會議であり、三日間に亘つて開かれる豫定である

有田白大使
十二月一日來滿

〔東京廿二日發國通〕新任のベギー駐割大使有田八郎氏は滿洲國並びに支那最近の事態を視察し度き希望を有してゐたが、廣田外相はこれを許可し、廿二日附を以て滿洲國及中華民國へ出張を仰付られる旨の辭令が發せられた、有田大使は來る十二月一日東京發三週間の豫定で滿洲並に支那主要各地視察の途に上る事となつた

外蒙獨立と
ソ聯の進出 (二)

ソ聯赤色勢力の外蒙進出の第二期である、以後國民革命黨內に於ては左翼派絕對の勢力を占むるに至り外蒙國民革命黨は共產主義的運動をとり從前の蒙古民族主義的運動を放棄するに至つた

一、外蒙人民共和國は將來ソ聯と同盟すること

二、社會主義建設には資本主義的發展段階を經過せずして行ふ

外蒙國民革命黨はコンミンテルンの外蒙支部化され外蒙人民共和國政府は外蒙國民革命黨の掌中にあり、依つて外蒙人民共和國政府はモスクワのコンミンテルンの完全な支配下にある

外蒙社會主義建設は愈よ千九百二十九年より積極的に着手されたが其の中主要なるものを摘記すれば次の如し

一、プロレタリアート獨裁

二、新憲法、法律の制定

三、貴族、ラマ等の非プロレタリアートの選擧權及被選擧權の否定

四、コルホーズ、ゴスホーズコンムーン及びアルテーリの建設

五、個人商の淸算

六、私有財產制度の否定、ブルジョアジー私有財產の沒收

七、千九百二十九年よりソ聯の產業五ヶ年計畫に倣ひ、外蒙產業五ヶ年計畫を實施

八、外交通商關係はソ聯とのみ保持する

九、ソ聯より外蒙各種機關への顧問指導員等の招聘

十、ソ聯との契約改正

外蒙國民革命黨がコミンテルンの外蒙支部化され外蒙各機關にソ聯より顧問指導員招聘されし結果

一、外蒙政權はソ聯の掌中に移り左記の如く通商關係はソ聯以外の何れの國とも無きため、物資缺乏するのみならず物價暴騰せり

二、ソ聯との通商に際し國稅を徴發せるため國庫は關稅收入を住民に負擔せしめたれば、住民の負擔稅額激增せり

三、トルゴーウオプコムイシレンユー銀行資本金は外蒙及ソ聯の折半なれば實權はソ聯側にあり

四、外蒙株式會社(運送會社)ツランボルトの資本金はソ聯及外蒙の折半なれば實權はソ聯側にあり

一、大フラルダントとはソ聯のソヴエート大會に相當するもの、毎年一回十三アイマク、數ケ都市及び外蒙赤衛軍等より代表約百名(二百名以下)出席して開催される

二、小フラルダントはソ聯の中央執行委員會に相當し約二十名の代表より成る

三、ゲ・ペ・ウは俗稱にして正確に云へば內務保安廳とも譯し得

四、「政治部」は黨務及政治工作を司す

日滿悲曲
生命線を行く
(上演上映)
國友雄吉
(荒川芳三郎畫)

(二十四)

あの子の幸福

その日千瀨子夫人は、宜い加減に話を切り上げて、牧原家を辭去した。

しかし、今日の牧原氏の態度は彼女をして、あまりに失望させなかつた。

「牧原さんは、話の持つて行きやうで、どんな相談にでも乘つてくれる人である。あながち、伸一ばかりの味方をする人でない、場合に依つては、久彌の味方にも、なつてくれる人である――」と、さういふ風に、考へられたからであつた。

夫人は、暗夜に、一道の光明を認めたやうな心地がした。

千瀨子夫人の歸つた後。牧原氏の家では――。

牧原氏の夫人安子は、いま千瀨子夫人を見送ると、玄關からそのまゝ取つて返して、再びもとの座敷へ戻つて來た。

「あなた。どうなさるおつもり?」といつて安子夫人は、良人のそばへ、膝を突つけるやうにして座つた。

夫人は既に、四十に近い筈であるが、色白で、肥滿つてゐるせいか、四つ五つも若く見える。顏容も惡い方ではないが、しかし、言へば上品といふ點で、缺けるところがある。或ひは、玄人あがりではないかと、思はれるやうなところが、何處かに殘つて居る。

牧原氏は、夫人から話しかけられても、別になんとも言はなかつた。

只だ「ふ――む」といつて、深い溜息をした。

「ねえあなた。晴子のことを、忘れないでねえ」と、夫人は重ねて言つた。

「晴子がどうしたといふのかね」

牧原氏は、初めて夫人の方へ向き直つた。

「あの子の幸福といふことも、考へてやつて下さいと、お願ひするのですよ」

夫人がさういふと、牧原氏は、再び默り込んでしまつた。

しかし彼には、夫人の心持が、よくわかつて居るのであつた。

夫人の所謂、晴子の幸福とは――? 取も直さずそれは、牧原家の幸福といふ意味に解することができるのであつた。

牧原家は、主人巧一郎氏と安子夫人との間に、長男の道雄と、妹の晴子とがあつた。兄の道雄は、もう妻を持つても宜い齡であつて、現に東京府廳に勤めて月給生活をやつてゐる。妹の晴子は昨年實踐女學校の專門部を優等で卒業して、現在は家庭にあつて、母を助けながら家事を働いてゐる。即ち親子四人、水入らずの生活であつた。

そして、その生活狀態も――相當の資產があつて、氣樂に暮らして居るやうである――と、世間では思つてゐるのであるが、實際はさうで無かつた。內輪へ廻つてみると、牧原氏の永い間の政治道樂が祟つて現在では、財產よりも寧ろ、借金の方が、遙かに多い有樣であつた。

けれど牧原氏は、曾て東京市から、代議士候補者として、選擧場裡に馳驅したことがある。又市會議員として、東京市政に相當幅を利かしたこともある。

その手前、いやでも、世間態を繕つて行かねばならない苦痛があつた。それが、人の知らない夫婦の惱みであつた。

隨つて牧原氏は、目下しきりに、家政の挽回に、腐心の最中であつた。

その矢先、氏家家の相續問題に就いて、周作氏から、後事を託されたのであつた。

それが不圖、牧原氏の心を動かした。

「氏家の奧さんは、兄さんの伸一さんより久彌さんの方が、ズツト可愛いんですよ。無理もありませんわねえ。そこが眞實の親子なんだから――そして、あなた。家の晴子と、久彌さんとのことも、考へてゐて下さるんでせうね」

「忘れやしないさ。二人の結婚の話だらう」

「え丶、さふよ。それには、奧さんの御機嫌を取つて置く方が、萬事好都合だと思ひますわ」

南北滿をつなぐ一大運河を築造す

新京、チ、ハル、東遼河には大貯水池を作る

『滿洲の民を治めるには水を治むべし』との古言の通り、治水の不完全は洪水の基因となり、農民の生活を脅かし匪賊を作るところから、關東軍特務部及國道局に於ては全滿の鐵道の完成を急ぐと共に、大治水計劃を樹てゝ王道樂土の建設に邁進してゐる、即ち、治水計劃としては、水源地を涵養し、貯水池を作り洪水路を開節して底水路を整備し、雨期には、貯水池に貯水して洪水を防ぎ、乾燥期には、低地に貯水地の水を灌漑して、荒蕪地の開拓をすることとなつた、先づ第一次工事として、新京郊外の飲馬河、遼河の支流、東遼河、齊々哈爾郊外洮兒河に大貯水池を作りそれと同時に營口より、哈爾賓に至る大運河を築造するのであるが、その各計劃について詳細記述すれば左の如し

尨大無比なる大運河計畫内容

公主嶺を去る南方三十五粁遼河の支流、本遼河の〇〇〇〇に長さ五百米高さ四十米の大圓堤を築造して東遼河の『流水』を遮斷すれば十三億立方米の貯水量ある大湖水が出現し内地の北上川の流水工事は放水工事だけに二千萬圓投じたるに對し半分の千萬圓で洪水を防止し荒蕪地を改良し水田畑地を開懇すると共に營口より奉天を經て同湖水に至り、それより、農安を經て、伊通河に出で、第二松花江に入り、その下流を改修して哈爾賓に出る大運河が開通することになるが、その延長五百六十粁巾は上三十五米『河底』二十五米水深三米とすれば奉天附近まで千二百噸級の汽船が航行し、撫順炭を奉天港から直接外律に搬出し、奉天より先は六百噸級の汽船が、哈爾賓に出で、又鞍山製鋼所に支線を出して、製鋼を鞍山港から内地に送る等の、今から考へると夢物語りの樣な大計畫が着々進められ只目下殘つてる問題は、東遼河の貯水地と、給水地點の運河の標高が如何になるかと云ふことと流域の土地改良法を如何にすべきかの二問題で、これは目下國道局で測量して研究中である尙同運河の工事は營口の『上流』三砂河と第二松花江の紅石砬間で、前間兩側の土堤は國道となる計畫でこれが完成の曉は滿洲國の國防、經濟治安維持、産業開發上貢獻するところ頗る大でその實現は各方面に待望されてゐる

貯水池計畫内容

新京を去る二十五粁飲馬河流域の〇〇〇に大圓堤を作り流水を『遮斷』すると、八千七百平方粁の流域（日本の淀川の流域と同面積）の土地が、毎年の洪水により荒蕪地となつてゐた災害から救はれることとなる、而してその貯水地は長さ五百米高さ三十米の土堤を以つて流水を遮斷すれば百七十平方粁の貯水池（深さ九米）を得、その貯水量は實に十二億立方米となり霞ケ浦と同じ湖水が出現しその工費一百萬圓で歸順匪其他の土工十四萬人を使用し失業救濟となる外荒蕪地一萬六千町歩濕地六千四百町歩が開墾され水田三萬三千町歩が出來、畑地とすれば灌漑設備に二百萬圓を投じて、八萬町歩となし農作物及び傾斜地の果樹（主にブドウ）を栽培して年收百二十萬圓を擧げ『優に』三百萬圓の利益があり、又卸價が騰貴することとなる。又〇〇〇〇で水力電氣を興せば一萬四千キロワットの電力を得、現在新京の發電能力六千キロワット（將來擴張して八千キロワット）に比し、素晴しい電力量が安價に得られるわけである。又目下新京唯一の惱みとなつてゐる斷水地獄も現行計畫第一期地下水第二期伊通河副流水、第三期伊通河主流水の計畫が人口十萬人目標たるに比し、この貯水地を利用すれば、二百萬人の給水量あり、又附近の移民適地一萬町歩に移民して養魚を行はしむれば年間二十萬圓の『收入』があり新京吉林の鮮魚は充分供給し得る可能性あり又新京吉林間の國道が、丁度その貯水池の附近を通過するのでドライブウエイを作り池中にモーターボートを浮べ附近に植林して新京の京都を出現させることも出來る等一石十鳥位の利益がある。又洮南北の兒河は水力電氣事業の適地であり、飲馬河同樣、荒蕪地の開拓されるもの又廣範圍に亘つてゐる

警察機關充實を期し

民政部で審議會

首都警察廳管下における警務狀態は建國二年後の今日餘りにも貧弱な感あるので、長春縣をして全滿治安維持の模範たらしむべく民政部では二十二日午後警務審議會を開催し細部に亘つて協議するところあつたが會議の重點は

一、警察機關の充實
一、銃器の取締
一、自衞團の統制

等であつたが之に呼應して近く首都警察廳でも審議をなすこととなつた

日印會商愈よ大詰め

協定大綱近く決定

調印はロンドンで

松平、サイモン兩氏の手で

（東京廿三日發國通）我最後案の提案により日印會商は局面展開、日印協定の大綱は今後二、三回の折衝會議で決定すると期待され大綱決定せば細目に亘り調整をなし條約案をロンドンに送り松平大使とサイモン外相との間に調印を交換する段取りであるが細目決定は目下の處明年一月となるべく澤田代表一行はデリーで越年すると觀られる

印度市場を放棄しても構はぬ

不滿の聲高い澤田案

（東京二十三日發國通）二十一日の日印本會議で澤田代表が提出した我讓步案に對し當業者側では甚しき不滿を唱へ『政府』が民間側の主張意見を斟酌せず讓步すべき限度以上の讓步に出たと非難の聲々浴せかけ二十二日に開催された棉業三團體の聯合特別委員會ではこれが不滿の爆發を見るやの局面を呈し兎も角も紳坂理事をして上京せしめ政府の意見を確める事にして一先づ强硬反對論をなだめたものだが今回の讓步案に對しては各方面とも意外の感に打たれ不滿の聲が高い、右に對し政府側では澤田代表の最後案は日印通商の大局を觀て讓步の最大限度を示したもので、これなら印度側を納得せしめる確信あるものとして提出したものであり、帝國政府は日印會商關係引いて英帝國との通商關係の圓滑を期する上より外觀屈辱的とさへ言はれる條件迄讓步したものである、仍つて政府としては當業者の不滿は至極尤もなりとは信ずるも此の通商の大局よりして當業者の不滿を抑へ日印兩者の解決を期せんとする方針である、但しこれ以上の讓步は最早斷じてしないとの意向を洩してゐる、仍つて此の最後案に對し印度側が英國側の態度に氣兼ねして解決を『遷延』するが如き事あるに於ては「印度市場は放棄しても構はぬ」と强硬意見に更に拍車をかける事となり此點印度並に其の背後に糸を操る英國側の出方如何は全く交涉の成否を決するものである

印度側兩局長

最後案につき質問

我代表部を訪れて

（デリー廿二日發國通）中央歲入局長ハーディ、通商局長スチュアートの兩氏は二十二日午後日本代表部を訪問し貿易年度二期別制と品種別割當制度の關係其の他日本代表部の最後案に就き種々質問を提出した、右質疑に對し日本代表部では次の如く日本案の趣旨を說明した

一、品種割當制と期間別制とは關聯なく品種別割當量は期間別制に依つて制限されず假に上半期中に一品種の割當量全部が輸入されることがあつても右品種に對する一箇年間の割當量を超過せず而も上半期の各品種輸入量の總計が上半期の制限量以内であれば何等差支へない
一、課稅基礎については英國品に對する指令値段で課稅する時は日本品も同樣取扱ひを受けるものとす
一、其他最惠國待遇の法律的事項

ハーディ、スチュアートの兩氏は會談一時間餘で辭去した

日印會商で印度產業の缺陷暴露

印度產業機構に大改革の氣運

（デリー廿四日發國通）今次の日印會商は單に日印間の通商上に『特筆』すべきことのみでなく印度產業殊に貿易業に一大刺戟を與へ一種の經濟革命が起されんとしてゐることは我々日本人として見逃し得ない現象である、即ち今次の會議で印度側は多年の積弊たる產業上の缺陷を完全に暴露した結果遽かに產業機構の修正或は企業形態の合理化を謀る運動が全印度に澎湃と擡頭して來た、併してこの傾向の最も顯著なるは紡績業で印度紡績の大部分は今次の會議の結果綿布關稅が五割となり保護の障壁がなくなると云ふことに異常な刺戟を受けたと見え各種の改善策に沒頭してゐるのは注目に價値する、過般來のアメダバードにおける賃下げ問題及び最近ボムベイ紡績業者中に物價指數表に準據して賃銀低下を圖らんとしつゝある等は製品原價中主要部分を占める賃銀の低下に依り將來日本綿布との『競爭』に豫め備へんとしてゐることを立證するものである、又印度紡績業者間に日本紡績の經營振には敵し難い故日本の人を經營首班に招き又は日印合辦紡績會社設立計畫あり既に非公式に提示し來つた模樣である

日印本會議は今週末か

（デリー廿二日發國通）態度愼重の印度側は綿布の品種別問題に關し更にランカシャーとの打合せの必要が生じた爲目下ランカシャーと交涉中であるから次回の日印本會議は早くとも今週末になるものと見られて居る、連日協議を重ね緊張して居た我代表部はさすがに二十二日は閑散の體で澤田代表は朝からゴルフに出掛けた

明年度總豫算は廿億五千万以内か

復活要求三億三千萬圓を三千萬圓以内に喰止める

（東京二十四日發國通）大藏省主計局では赤字財政の折柄各省が提出した巨額の復活要求に對しては何處迄も既定方針に基き無い袖は振れぬ『主義』を標傍し、八年度豫算查定の際における如き醜態を晒さない決意の下に各省の要求を擊退する意向である、二十三日は祭日なるにも拘らず早朝から陸海兩省經理當局を主計局に招致し陸軍の復活要求に對しては更に再考を求め海軍は單價引下げの問題よりも鞘徹に於て莫大な金額の要求なるに鑑み此れ亦嚴重に其の再考を促す處あり、其他の内務、外務、司法、文部の各省會計課長に對しては經常部の復活は之を嚴禁し臨時部に於て財源の捻出可能のものに就てのみ考慮する旨申渡し、藤井主計局長は同日夕刻高橋藏相に一應再查定の經過報告をなすと共に藏相の意嚮を確めたところ頗る强硬なる態度であるので其の方針に基き更に農林當局を招致し同省の要求を聽收したが已に午後十一時を過ぎたので農林、商工、遞信、拓務の『四省』は二十四日に讓ることとして主計局の查定會議を終つた、尙主計局は二十四日一ぱい殆んど陸海軍當局と折衝を重ね而る後其の振合を顧て軍部全体並に產業各省復活要求が全部纏まるのは二十五日と觀られるので從つて豫算閣議は結局廿八日頃となる模樣であるが、今次の大藏省主計局の查定方針は意外に强硬で總額三億三千萬圓の復活要求はこれを三千萬圓以下に喰止める方針であり、從つて豫算總額は政治的折衝に依つて『增額』を觀ざる限り二十億五千萬圓以内であらうと觀られてゐる

朝鮮よりの金密輸根絕を期す

財政部對策を考究

朝鮮產金の滿洲國密輸は最近市價の暴騰につれて著しく、年額二千萬圓を突破するものと推定され『更に』滿洲國政府の產金買上價格引上げにより激化せらるる情勢にあり、この儘に放置するに於ては日滿經濟統制上一大障害を來すものと憂慮され根本的密輸對策の緊急確立の必要が叫ばれるに至つた、從來朝鮮產金の滿洲密輸は天津方面への密輸を目的とし比較的密輸の容易なる滿洲經由をとつて居たものであるが、最近滿洲國政府の產金買上價格引上げ（現在一瓦國幣二、九五圓―國幣對金票一〇九、五〇圓として一匁金票一二、一五圓）により遂に十二圓臺を超へるに至り日本政府の八圓八十八錢に對し差額著しく增大するにつれ滿洲への密輸が一層激化するに至つたものであるが、現在滿洲國には金輸出禁止法の施行を見て居るが地金輸入は無視なるのみならず何等の制限法規なく、輸入禁止は不可能な實狀にありこの儘に推移すれば單に日滿經濟統制を阻害するのみでなく、割安地金の滿洲流入は新鑛業法施行と共に勃興を期待されて居る滿洲產金事業の發展を阻害するに至る虞れがあるので、財政部當局に於て可及的速かに『對策』を確立朝鮮方面よりの地金密輸の根絕を期することとなつた

新政權の發表せる

人民權利宣言要旨

（上海二十二日發國通）福州の中國人民臨時代表大會に於て發表された人民權利宣言の要旨左の如し

中國革命の中絕と中國植民地化加深は蔣介石の傀儡たる現南京政府が惡政策を採れる結果なりと認め中國の純獨立を求むる見地より本大會は一致次の基本決議を爲す

甲、全生產的人民の民主共和國である中國最高の權力は全國の生產的農、工及び社會組織を共同支持する商、學、兵の代表大會に屬する
中國々家の獨立の不可侵は最高原則となし全國人民は種族、性別及び信仰を論ぜず民族に背反し農工を搾取するものを除く外絕對の平等權を有す

乙、帝國主義の在支勢力を驅除し軍閥を打倒し殘餘の封建制度を除き人民經濟を發展せしめ更に徹底的民主政權を實現せんが爲めに大會は左の決議を爲す
一、農工生產民族民底的解放を實現す
二、一切の帝國主義國が强制締結せる不平等條約を否認し先づ第一に關稅自主を實行す
三、計口授田を實行して農業の共營乃至國營の目的を達成し一切の森林、鑛山、河道、荒地は總て國營に歸す
四、民族資本を發展せしめ工業建設を獎勵し凡そ民族の生存並民生の二に關係ある重要企業は一切國營に歸す
五、人民は勞働の權利義務を有す、軍閥、官僚、豪臣、地主等の寄生分子並に不頼漢、流民等の遊民分子を矯正し肉體及び精神勞働者は等しく最大の保護を受く
六、人民は身體、居住、言論出版、集會、結社、信仰、罷工の自由を有す
七、人民は國家を武裝保衞するの權利義務を有す

丙、人民臨時代表大會は蔣介石の南京政府を軍閥、豪臣地主の反革命政府と認め且つ全民族の最も恥づべき大敵なりと認め迅速に此の反革命政府を覆滅せしむる見地より左の宣言を爲す
一、南京反動政府を否認す
二、全國反帝、反南京の革命勢力を召集して直に人民革命政府を組織し南京政府を中心とする國民黨系統を打倒す
三、最短期間内に全國生產人民代表大會を召集し憲法を制定し國是を解決す

十一月二十日　中國人民臨時代表大會

人民政府の委員は十一名に決定

（福州廿三日發國通）二十二日午前十時正式に成立式を擧げた人民政府の軍事、國民經濟、文化の三委員會及び財政外交の二部委員會役員は、政府主席兼軍事委員會委員長李濟深、國民經濟委員長兼財政部長蔣光鼐、外交部長陳友仁、文化委員會委員長陳銘樞政府委員徐謙、黃琪翔の兩氏を加へて左の如く十一名となつた

李濟深、陳銘樞、蔣光鼐、蔡廷楷、戴戟、陳友仁、徐謙、鄧演生、許錫清、黃琪翔、章伯鈞

又一時財政委員長に就任を傳へられた許錫清は財政部次長に就任した

中央の對福建態度は

蔣氏歸寧後決定

（南京二十三日發國通）二十二日の中央政治會議は福建獨立問題に關する中央の態度を決定する筈であつたが福建方面と中央軍との連絡絕え其後の眞相充分判明せず且江西より歸來して會議に參會する筈の蔣介氏が都合で遲れたので最後的決議をなさずして散會した、中央軍の最後的態度は蔣介石氏の歸來後決定する模樣である

江西共產軍愈よ猖獗

（上海廿二日發國通）支那側入電に依れば福建政變に乘じ江西省共產軍は活氣を呈し、撫州南城方面に向つて猛烈な總攻擊を開始せる共產軍第五七の兩軍團と第三軍團の一部は同方面の中央軍に大打擊を與へ中央軍第八師は殆んど消滅し、第九師及第十師は大損害を蒙り後方に敗退した尙北路軍の前進根據地撫州は共產軍の包圍され、南昌の人心は動搖を來してゐる

長城各口接收開始

（天津廿四日發國通）山海關支那側接收に就て二十四日午前〇時柴山武官は陶尙銘氏と共に山海關に向つた、長城線各口接收に就ては〇〇〇團の遠藤參謀が新京に赴き接收事務に就て關東軍の指示を仰いだ結果先づ山海關より接收せしめることになつたものである

學良近くソ聯を通過歸國

（東京廿三日發國通）某所に達した情報によればロンドンに在る張學良は近くソヴィエートを通過して支那に歸國することに決定したが天津に在る于學忠氏始め舊東北軍の領袖は舊東北軍閥の新疆方面移駐問題がある爲、學良の歸國を希望して種々運動してゐる併し學良の歸還は北支方面に於て支那政權と我國との關係が好轉に向ひつつある際惡影響を來すものと觀られてゐる

各地市場

▲阪神日米爲替
第一回　[illegible]

▲大阪株式
大株新　[illegible]
紡新　[illegible]
鐘新　[illegible]

▲同短期
同新　[illegible]
鐘新　[illegible]
東新　[illegible]

▲大連株式
大連　[illegible]

▲大阪三品
五品　當先　[illegible]

▲大阪棉花
當月限、十二月限、一月限、二月限、三月限、四月限、先限　[illegible]

▲大阪期米
當限、先限　[illegible]

▲仁川期米
當限、中限、先限　[illegible]

▲横濱生糸
當限、中限、先限　[illegible]

▲神戸豆粕
現物、當限、先限　[illegible]

▲カルカッタ麻袋
十二月限、一月限　[illegible]

▲大連特產
青豆　[illegible]
豆粕　[illegible]
豆油　[illegible]

▲上海標金
現物、十二月限、一月限、三月限、五月限、七月限、十月限　[illegible]
高値、安値、本寄、步値　[illegible]

同　遠限
紐育銀塊
孟買銀塊
米英爲替
米日爲替
米支爲替
スチール株
アナゴンダ株
[illegible]

▲上海日本向
第一回、第二回、第三回　[illegible]

▲上海倫敦向
賣値、買値　[illegible]

▲上海紐育向
賣値、買値　[illegible]

▲大連金鈔票
現物、十二月二十七日限、十一月十二日限　[illegible]
寄付、步値　[illegible]
引値、高値、安値　[illegible]

▲大連上海向
出來高　[illegible]

▲大連臺台向
[illegible]

不　來　申

新京市況

糧豆現物
特產現物：大豆、高粱、小豆、包米　[illegible]
鈔票對金票、現大洋對金票、現大洋對鈔票　[illegible]

●大豆
袋込、十二月限、一月限、二月限、三月限　[illegible]

●豆粕
現物、十二月限、一月限、二月限、三月限　[illegible]

●豆油
現物、十二月限、一月限　[illegible]

●高粱
現物、十二月限、一月限、二月限、三月限　[illegible]

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊　一八片四分一

西公園のスケート
この日曜から
各學校々庭は少し遲れて
一般のために開放

數日來の寒氣で西公園譚月池も漸く氷り詰めて待望のスケートもいよく來る日曜日の二十六日から一般に開放されることゝなつた、當日は午前九時から『神官』の祓式があり終つて直ちに開放されるはずで相當練習を積んだ來月半頃には小會を催し來春大會を開いてスケーターの妙技を競ふことになつてゐるが、今年は西公園リンクのほかに新京高女、室町西廣場兩小學校庭も放課後一般のために開放されることになつて居り、新來者の激增とともに一層盛況を見ることであらうといはれてゐるが學校リンクの開放期は給水關係その他でこゝ兩三日の『氣溫』如何によつて決定されるべく今のところ西公園のそれよりも大体一週間位遲れる見込みである

大亞細亞青年聯盟
近く結成の運び
黎明に呼びかける

義に滿洲經濟建設學徒研究團來滿を期とし新京西公園に於て開催せる「日滿青年大會」が滿場一致決議せる大亞細亞青年聯盟組織」はその後兩國準備委員の間に着々準備が進められてゐたが愈よ機熟し來月中旬新京に於て結成式擧行の運びとなつた卽ち本聯盟の構成は將來日滿のみでなく支那印度、フイリツピン、アフガニスタン諸國をも參加せしむる事になつてゐるので規約制定は極めて愼重を要し目下協和會が主体となつて案の起草中であるが右立案の骨子は

一、日滿青年大會に於て決定せる綱領宣言決議の貫徹を圖る目的を以て大亞細亞青年聯盟を組織す。聯盟本部を新京に置き支部を各國に置く

一、本聯盟は亞細亞精神の喚起並に民族の大同團結を目標とし同時に滿洲國建國の意義の徹底化を圖る

一、聯盟の目的達成の爲め汎亞細亞青年會議の開催及び亞細亞に關する政治、經濟社會問題の研究、機關新聞雜誌の發行並に各國青年使節の交換等を行ひ參加國の親善を圖る

一、事業遂行機關は會議制の理事會とし其の下に總務部調査、計畫部及び輪章隊を置く、各役員は代表者會議に於て選出し任期二ケ年とす

一、輪章隊は產業、敎育、社會、軍隊等の各部門に亘り涉外斡旋に當り、隊長、參謀部隊員を以て組織し實質的に亞細亞十字軍とも稱すべきものである

以上の如きものであるが本案は來月上旬結成に先立ち來滿する日本側代表を迎へ代表者會議を開催附議することになつてゐる

妨害する者は
斷乎粉碎せよ
滿鐵改組問題に對する
滿洲青年同志會決議

滿洲青年同志會の演說會は二十三日午後六時から新京高女講堂で開かれ滿鐵社員吉井卓氏の滿鐵改組の本質を認識せよ、本溪湖神仙英氏の滿鐵改組に對する吾人の使命等の熱辯あり、最後に滿鐵改組問題に對し左の如き決議を爲した

世界人類破局救濟の歷史的大使命を遂行すべく東亞の一角に新興せる滿洲國の理想實現は人心の道義的革新を促進せしめ併て現資本主義經濟機構の缺陷を芟除し王道經濟の本義に立脚したる搾取なき經濟機構の確立によらざるべからず今や滿洲新情勢の全面的發展に順應し滿鐵改組を中心とする全滿鐵機構是正確立を期せざるべからざるの秋舊資本主義の殘壘に籠居せる政黨財閥の忘國的一群はこれが阻止に汲々とし滿鐵社員亦一時的不安興奮にかられて本來の其使命を禍さんとす惟に現下滿鐵の國家的大使命は日滿兩國民の結合せる實在の緩衝に立ち脫劫一新して新指導精神に基く日滿經濟機構の確立により飛躍發展以て大陸經綸の實現促進に寄與するにあり、正義は遂に勝利の凱歌を舉げ吾々の正論必ずや民心の杞憂を定むるを確信すると雖も刻下最も憂ふべき輿論の不統一に混迷せる在滿同胞の現狀なり、吾人輪を舉けて國際重局の推移を凝視し顧みて母國の形勢刻一刻必至の機運熟成しつゝあるを正察する時飛躍する明日を豫斷し親愛の今日に對處して蹶起大鼓速に在滿同胞の一致團結と敢當國策遂行の一途に邁進するの要切實なるを痛感せずんばあらず、然り實に焦眉の急務これを阻止しこれを妨害する者あらば斷乎鬪魂一擊これを粉碎して直進決勝を期せんとするものなり　滿洲青年同志會

街の日記

集金を橫領 惡店員逃走

二十二日午前九時三十分ごろ市內祝町二丁目十一番地鹿島屋こと藤田惣右エ門氏方雇人古田桂次（一七假名）は集金二十圓を橫領逃走した

騎兵隊洮南へ

騎兵第〇〇聯隊金子大尉以下二百十名は二十四日午前三時五十分敦化から着京、同四時十分洮南へ出發した

旅客事務打合會

新京鐵道事務所の旅客事務打合せ會議は來る二十七日[illegible]平街で管內旅客關係者三十余名集合し開催することゝなつた

天野商店移轉

建築材料硝子塗料等の老舖天野商店は舊くから市內東一條通りに店舖があつたが今度老松町二丁目三番地に新築した方へ二十三日移轉した

日滿土木建築協會發會式

かねて設立計畫中の日滿土木建築協會は諸般の準備全く整ひ明二十五日午後四時から新京ヤマトホテルで發會式を擧行に決しそれ〲案內狀が發せられた、當日の式次第は左

一、開會ノ辭
一、會長式辭
一、來賓祝辭
一、祝電披露
右終つて祝賀宴に移る
一、會長挨拶
一、來賓總代挨拶
來賓萬歲
日滿協會萬歲
一、閉會

駐滿海軍部へ 御眞影下賜

駐滿海軍部に御下賜の御眞影は向野中佐が捧持し二十四日午前七時着京直に差廻の自動車で海軍部に到着安置された

酷寒と闘ふ
勇士の福音
數々の科學糧食

我國陸軍の裝備が益々科學化するに伴ひ軍隊糧食の『方面』にも一段と改善が加へられ、最近東京糧秣本廠から關東軍へ送られる糧秣の中には腐敗しない食料及凍らない食料がある。即ち腐敗しない食料は特殊の耐熱裝置によつて工夫され又凍らない食料は食物自体が不凍性であるか或は常に携帶し得る固形アルコールで卽座に溫い食物になるものである、列を舉ければ現在關東軍で使用して居る試製携帶口糧並に熱量食料は前者は乾麵ポ大、後者はキヤラメル大であるが何れも榮養價百パーセントで材料は小麥、鰹節、梅干、粉抹、朝鮮人參等を含み、昔忍術の大家が發明したといふ「忍術兵糧丸」を近代化したものと思へば大して違はないものであることの外固型味噌汁、固型しること等で湯で溶けば直ちに料理が出來上るやうになつて居り、零下卅度の酷寒で活躍する兵士にも漸次食料から來る苦痛が薄らぎつゝある、又飲料水についても相當苦心が拂はれ過般の上海戰熱河戰に於ては軍隊用堅井濾、同濾過機が大いに活用されたが、濾過機の如きは戰爭になくてはならぬもので『汚水』の中にホースを入れゝば直ちに淸水に變じその變化たるや忍術以上で、日露戰當時と比べると隔世の觀があると云はれてゐる（寫眞は各科學糧食）

第二次彩票
福民獎劵發行
十二月一日より五年繼續

滿洲國財政部では第二次彩票發行準備中であつたが、愈よ十二月一日より「福民獎劵」を發行することに決定した。同獎劵は北滿水災彩票同樣發行額十萬圓、一枚一圓とし[illegible]彩金頭彩は甲乙二種で各一萬圓である、なほ福民獎劵は五ケ年計畫を以て發行せられるもので漸次發行額の增大と共に彩金を二萬圓となす豫定である

朗かな墓地を
新京にも設けたい
日本內地の視察から歸つた
荒木さんの土產話

新京地方事務所長荒木章氏は日本內地に於ける各都市の行政狀態その他を視察中のところ二十三日午前七時歸京したが氏は語る

東京、大阪、京都を始め北鮮方面と關係深き北陸各地九州各地など約一ケ月に亘つて觀察した、これといつてお話申上げるほどのこともないが內地の現在は一般で儲へられるほど不景氣ではないやうで、所謂インフレ『景氣』とでもいふか、殊に軍需工業などは相當盛んなやうに見受けられた內地の人々はいづれも滿洲に多大の關心を持てゐることは事實で殊に北陸方面では敦圖線の開通によつて小濱、敦賀宮津など何れも指定港たらんとして熱心に運動してゐる地方行政を主にいろ〱各方面に亘つて觀察をしたが世の中にはそう〱變つたことがあるわけではなく而かも內地と滿洲とは事情が違つてゐるので內地そのまゝを此地でまねることも出來まい取り立ておみやげといふほどのもないが、唯だ東京市の多磨墓地を見て實に我意を得たものと痛く感じた次第である、同墓地は東京から約十里ばかりのところにあり今では「多磨の靈苑」といはれてゐるが墓地といへば何か氣味惡いものとされてゐるのにとでは實に氣持のよい朗かなものである、靈園は三十萬坪餘の廣大なもので全く公園式に樹木が生ひ茂り草花が咲き小鳥は歌ふといつた具合で汽車でもまた自動車でドライブも出來るといつた『便利』なところである、自分は歐米に遊んだ時も墓地を見るのが好きでいろ〱と訪ねたものだが西洋のいはゆる「永遠の家」として何よりも墓地だけは立派な朗かなものにしたいと思ふ、翻つてわが滿洲の墓地を見ると實に殺風景なものばかりでこれでは進んで骨をここに埋めやうといふ氣持は出ない、これはわれ〱日本人の大陸發展のうへからいつて誠に遺憾なことでぜひ墓地は多磨の靈苑を見るやうなものを作りあげ吾々はそこに骨を埋め、また『名士』の骨なども ぜひそこに埋めることにすればどれほど嬉しく心强いことだらうと思ふ少くとも日本人だけの墓地でもよいから一部建設局あたりと協議して今から適當な場所を選んで置きたい、これはたゞ附屬地といつたちつぽけな考へではなしに附近に適當な場所がなければ相當離れたところで電車の便でも備はればよいと思ふ、それから多磨墓地の經營なども使用料が最低四圓から最高千二百圓といふ制度でどんなに澤山の使用料を拂つても僅かな限られた面積しか使用を許されないなど大衆的で誠に結構なことゝ思ふ

吉林藝妓の
催しに
新京花街が助勢

吉林花柳界に流儀ひろめのため滯在、多くの弟子を有つ常磐津長太夫は壽會といふを組織してゐるが今度その俊秀をすぐつて來京、二十七日長春座の舞台を借り先づ晝は[illegible]隊慰問演奏を行ひ、夜は一般の批判を仰ぐため公演する、番組は新曲松の羽衣、將門、小夜衣千太郎道行、同久八意見の段、お染久松土堤場、同お光物狂ひ等であるが、どうぞ然る可くと挨拶を受けた新京花柳界の八千代館の瀧、曙の後藤、やよひの大橋の各氏は從來の經驗上、たゞ常磐津を語るだけでは淋しからう、斯うした催しは華やかな上に華やかにせねば折角の催しもいゝ結果をあげ得まいと噂してゐるところへ、新京の[illegible]から、長太夫がわざ〱やつて來るのだからではなんとかして花をもたして歸してはとの相談をうけそれもさうだと何れも一肌ぬぐことになり、八千代、曙、やよひから賑かな踊りを助演することゝ決したさうで錦上花を添へることの事に吉林藝妓が來て公演するといふ珍らしい催しの興味に更に興味が加はり前景氣が頗る良好の模樣である

拾ひもの

▲日本橋通二十九番地永井美代子さんは二十三日午前七時三十分ごろ新京市場前で薄茶色二ツ折財布一個在中一圓[illegible]印鑑二個を拾つた

[illegible]三十分ごろ長春座で皮製手袋一、女物オペラバツク一個在中手帖一、九型鏡一個二ツ折財布一個在中現金一圓を拾つた

▲城內西二道街馬車夫楊小[illegible]氏は二十三日午前八時四十分ごろ馬車上に遺留してある黑サージ折襟服上下を發見屆出た

落しもの

▲東五條通十九番地洗濯業松尾淸一氏は二十三日午後零時ごろ新京貨物驛から歸宅中木製黑色印鑑一個（水守）を落した

吉林共產黨再建か
日滿要人の暗殺團？
各方面に凄い警告文

〔吉林二十三日發國通〕吉林共產黨大檢擧以來逮捕の手を巧みに逸れて地下にもぐつた彼等の一味が再建を企て果敢なる潛行運動を開始したとの噂ある折から、今二十三日省立一師の許得仁なる青年を中心とする共產黨らしい尖銳分子が猛烈な赤色テロ戰術に出づべく日滿要人の暗殺團を組織して居るとの凄い警告文が各方面に舞ひ込み時節柄一大ショックを與へて居るが全省既に完全なる肅淸を見た此際の事とて或は單なる人心の動搖を企圖する單なる惡戲にあらずやとも觀られてゐる

注目される
長春座總會
半直營か純直營か

長春座善後策に就ての株主總會はいよ〱二十五日午後一時から同座で開催されるがその善後策は、一般に大きな關心をもつもの多く、先頃から頻りに同座の株を買ひ集めやうとしてゐたものあるに徵してもあきらかである、直營にすることは先の重役會議で決定してゐるが、直營と稱しても部合によつては興行師に小屋貸しをすべしとの兩派ある如く、純直營論者はたとへ休場するやうなことがあつても全然他に貸さぬと云ひ、一方は同座の改修期まではこれを有利に繰廻すべきである、先に新京商事映畫部に一週中金土日の三曜を縛られた如き愚を繰りかへさず殊に正月を控へての[illegible]、市の娛樂機關であるといふ使命を忘れぬことが肝要であるとの論者もあつて、この總會は相等の波瀾を見るであらう

未練亭主が 虛僞の訴

二十三日午後四時ごろ新京署司法係へ撫順新站永安里居住馬蘭亭氏は自分の妻李氏（四三）、同長女園亭（二三）の兩名を十月頃奉天省滿城縣東街生れ當時同家雇人徐庚[illegible]（二七）が甘言で誘拐し城內東裏四條胡同十五號雜貨商[illegible]李雨田氏方に變飛さんとしてゐるから取押へて吳れと願出た、同署では直に刑事を派し搜查の結果發見し同署に引致取調べたところ拐かされたのは全くの僞で實は馬蘭亭が鄕里で妾をかこい自家を顧みず妻や長女を虐待するため堪えかね前記徐を連れ無斷家出したことが判明した、同署では兩者に嚴重說諭の末夫に引渡し歸鄕せしめた

佐々木顧問邸出火

二十四日午前十時五十分ごろ市內曙町二丁目十番地滿洲國軍政部顧問佐々木到一氏方煙突から出火したが新京消防隊員が急行消火に努めたゝめ同十一時鎭火した原因は煙突の不完全損害三十圓

邦人狂つて 飛降り自殺

二十三日午後十時新京驛發列車が陶家屯驛を通過後突然三等乘客大連二[illegible]町四丁目八十八番地吉岡英八氏が飛降自殺を遂げた、原因は精神に異狀をきたしたものでその死体は附添人に引渡した

城內に强盜

二十三日午後五時三十分ごろ城內和順街二馬路料理人徐發氏方へ二名の覆面强盜が棍棒を携へ押入り家人を脅迫した末、同家の支那式箪笥を破壞し國幣二百圓衣類九點時價六十圓を强奪逃走した、屆出より首都警察廳では直に廳員を召集犯人逮捕に努めたが逮捕するにいたらなかつた、犯人は前後の關係から押して同家の內情に通したものとにらんでゐる

長谷川如是閑氏 檢擧さる

〔東京廿三日發國通〕シンパの嫌疑で二十二日朝突如中野署に檢擧された長谷川如是閑氏はシンパの嫌疑は尙ほ解けないものゝ拘留程の必要も認めず且つ同氏の健康も考慮し二十二日午後十一時一先づ歸

朝日新聞社長 村山氏逝去

〔大阪二十四日發國通〕大阪朝日新聞、東京朝日新聞社長貴族院議員村山龍平氏は今二十四日午前三時二十五分逝去した

慶安異聞 艶魔地獄

（禁上演映畫化）　玉水三郎　（繪）長谷川小信

（百）

最後の一策（五）

如何に慈悲深い町奉行、酒井因幡守の同情に、小島三平は有難涙。

因幡守は最後に。

「小島三平、其方妻の妹なる、八重に就ても一應は吟味するに依つて、それまで揚り屋入り申附ける……ア、コレ牢役人に申せよ、罪無き者を連れたる囚人である故、何彼につけていたはつて取らせる様……又一々手附きには及ばぬ。況して幼少の者、其儘にて……下がれ」

普通牢獄へは入れずに、武士を入れる揚り屋へ送られ、父子二人同様といふ寛大な處置であつた。

一方唐犬權兵衛へ、ほんの形式の差し紙で大淀のお八重を呼び上げ、今日までの成行に就て訊問があつた。

お八重は奴遊女となつて以來のいきさつから。唐犬權兵衛落籍の一條。途中青山主膳が無頼の徒を遣し、柳原土手に於ての亂暴。其身は青山方へ監禁された事から權兵衛が自分を救ひ出しに來て、其時追跡して來た用人相川忠太夫を、唐犬御前が處として、折檻しな所が、青山主膳と共に奴奉公人である姉の菊を殺害した事、殺害の理由は主膳の心に姉が從はなかつた事からで、主膳は忠太夫と謀し合はせ、家寶紫土燒の皿一枚を菊が打碎いて父高坂甚内を捕へた主膳への返報にしたる上、家の重器不足から青山家は將軍に對して申譯なく、家斷絶に至らせんとの企みであつたと作り事をした一件まで詳しく申立てた。

因幡守は此一伍一什は、曾て聞き込んでゐるのだが、正式に先づお八重の大淀から言はせて、之れが口書を取つて了つた。

青山主膳の曲事は、玆に判明したので、町奉行が之れを若年寄へ申達すれば、直に千五百石の家は取潰し、家名斷絶は當然。

「アゝすまじきは町奉行の役だ。青山家の取潰しは自業自得の結果とは申しながら、東照神君に御馬前して千軍萬馬を往來したる祖先槍先の功名に依り、千五百石の旗本として、今も世に時めく青山主膳の家名斷絶さすとは、如何にも忍びぬ事である。其上何の罪も科もない小島三平父子に、遊女とまで成り下がつて苦勢した八重まで、謀叛人の餘類として、輕くとも遠島ぐらゐの處分をせねばならぬ。アゝ罪なき者だけなりとも救つて取らせたいが、天下の掟、何としたら可からう。青山家の運命も……」

織り腕を痛めた因幡守、不圖氣附いたは大久保彦左衛門だ。

『オ、旗本の肝煎りであり、天下の御意見番たる大久保老人。斯ういふ時の相談は、此の人を措いて外にない』

因幡守は早速大久保老人の邸へ、正式でなく無沙汰の謝罪といふ意味で出かけた。

『ヤア酒井氏か能く來て呉れた、町奉行は定めし骨が折れやう』

頭から打碎けて、老人ニコニコ顔である。

『何分煩はしい役目、寸暇を得ず御無沙汰に相成りました。今日は其お詫がてら伺ひました』

『イヤそれは同罪、俺も御無沙汰して申譯がない』

『時に御老體、手前思案に餘つて一つ御相談があるので……』

『ヘ、ア判つた／＼、青山主膳の一件か』

『エ、ーツ何としてそれを御承知にや』

『イヤ詰まる所は、俺の許へ來るだらう。若年寄に申達する程、因幡守は馬鹿でないと思つてゐた』

十一月廿五日　土曜　乙未　大安　成　女宿　舊十月八日

●一白の人　氣運不活潑にて何事も思ひ通りにならぬ日　丙と庚と癸が吉

●二黒の人　何事も誠意が肝要射倖心を起すときは大敗　甲と乙と丁が吉

●三碧の人　目上の意見に服從して我意を徹さざるが吉　乙と庚と壬が吉

●四緑の人　人の力を利用して勝を占むる用意肝要とす　乙と辰と庚が吉

●五黄の人　平穩無事の日他意を抱かず常業に勉むべし　乙と丁と寅が吉

●六白の人　成るも成らぬも腕次第心組次第の日努めよ　丁と未と寅が吉

●七赤の人　事業の擴大を圖し新事も亦繁昌すべき吉日　未と庚と寅が吉

●八白の人　頓挫屈する所なく勇奮して旗揚げの喜あり　卯と丁と寅が吉

●九紫の人　盛運此上もなき發展日開店起業普請造作吉　乙と庚と寅が吉